

一文字葺

特長

一文字葺は平葺ともいわれ最も一般的に普及している工法です。はぜ折加工した小判をレンガ造の目地模様に配置して葺きあげる工法で、加工性がよく和・洋いずれの建築様式を問わず、いろいろな形状の屋根および壁に適用性の多い工法です。

用途

社寺・伝統的建物・美術館・博物館・クラブハウス・マンション・レジャー施設

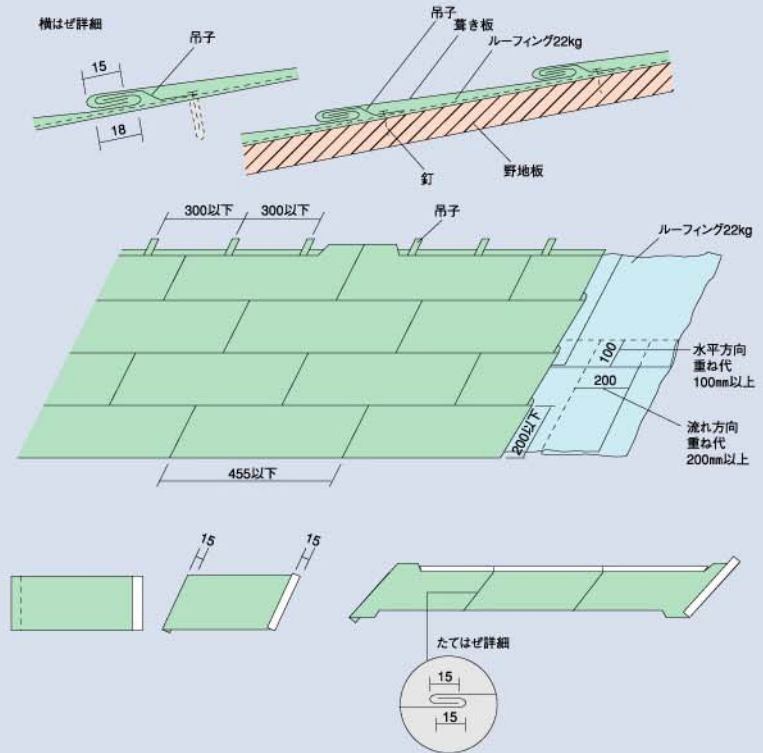
材質

銅板・ステンレス・チタン・亜鉛合金板

断熱材

ポリエチレンフォーム・木毛セメント板・木片セメント板・ALC板・ウレタンボード

断面形状



設計参考仕様

板厚	0.30mm~0.50mm
働き幅	屋根の大きさや材質により設定
葺き板長さ	随意(エキスパンション加工は4m以内)
吊子	部分吊子
勾配	3/10以上
ルーフィング	アスファルト ルーフィング 22kg以上



四国電力学園屋島